

2018年12月期 決算説明

**2019年3月
市光工業株式会社**

決算資料に関する注意事項

■ 今回のご説明ご留意点

- ✓ 2018年12月期の実績は、前年の同一期間である2017年1月～12月の業績（非監査）と比較しています。

目次

- 2018年12月期業績概要（2018年1月～2018年12月）
- 2019年12月期業績見通し（2019年1月～2019年12月）

2018年12月期業績概要 (2018年1月~12月)

地域別自動車生産台数 前年比較（速報ベース）

単位：万台



日本は中大型商用車含まない台数



ASEAN: Malaysia, Indonesia, Thailand



出展: MarkLines

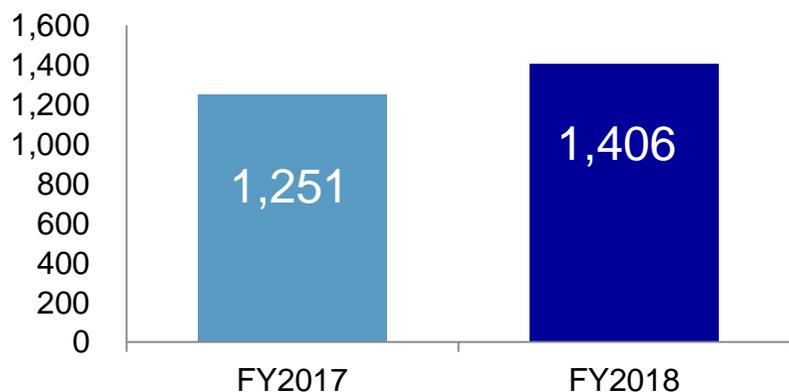
2018年12月期 連結業績概要

単位：億円/四捨五入

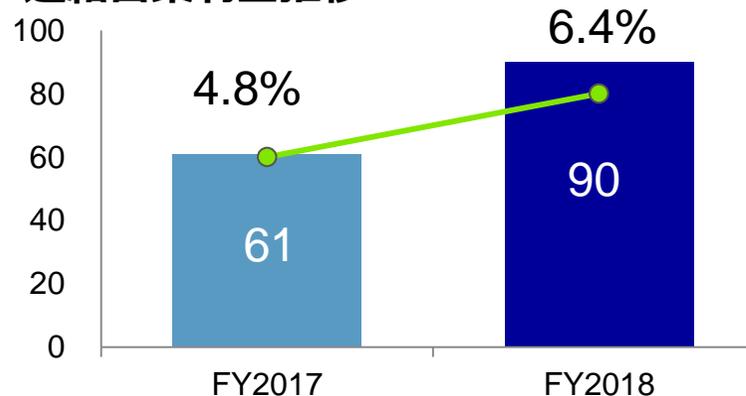
◆ 5期連続 増収増益を達成。過去最高益

	前年同一期間 (2017年1~12月)	FY2018 (2018年1~12月)	増減額	増減率
売上高	1,251	1,406	155	12.4%
営業利益	61	90	29	48.6%
営業利益率	4.8%	6.4%	-	+1.6ポイント
経常利益	68	97	29	41.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	62	98	36	58.1%

連結売上高推移



連結営業利益推移



2018年12月期 連結業績（対予想比較）

単位：億円/四捨五入

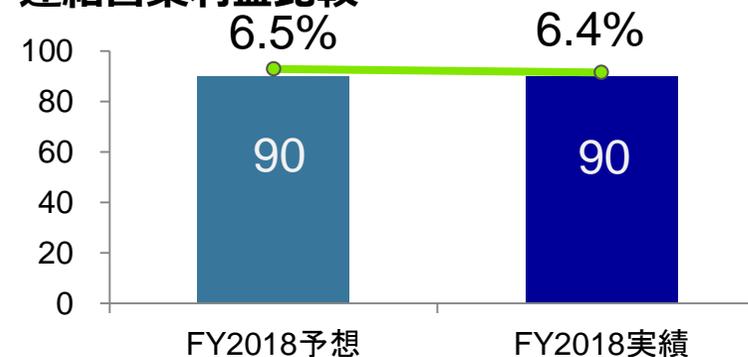
- ◆ 売上高予想をわずかながら上回る
- ◆ 営業利益・利益率については予想水準を維持
- ◆ 当期純利益については繰延税金資産の追加計上により予想水準を大幅に過達

	FY2018 予想 (2018年1~12月)	FY2018 実績 (2018年1~12月)	増減額	増減率
売上高	1,390	1,406	16	1.2%
営業利益	90	90	0	0.0%
営業利益率	6.5%	6.4%	-	▲0.1ポイント
経常利益	98	97	▲1	▲1.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	75	98	23	30.7%

連結売上高比較



連結営業利益比較



2018年12月期 拠点別業績

単位：億円/四捨五入

- ◆ 国内が売上高・利益とも大幅に伸長
- ◆ 海外（ASEAN・中国）も増収増益。特にインドネシアの伸びが顕著

	日本 (市光工業)	海外	その他	内部取引 消去等	合計
売上高	1,097 (976)	249 (207)	112 (109)	▲51 (▲41)	1,406 (1,251)
営業利益	66 (45)	17 (14)	2 (▲1)	5 (3)	90 (61)
営業 利益率	6.0% (4.6%)	6.9% (6.8%)	2.2% (▲0.8%)	-	6.4% (4.8%)

市光工業：単体ベース（伊勢原・藤岡・ミラー・本社）

海外：インドネシア・マレーシア・タイ・中国

その他：用品事業（PIAA）・バルブ製造販売事業（Life Elex）

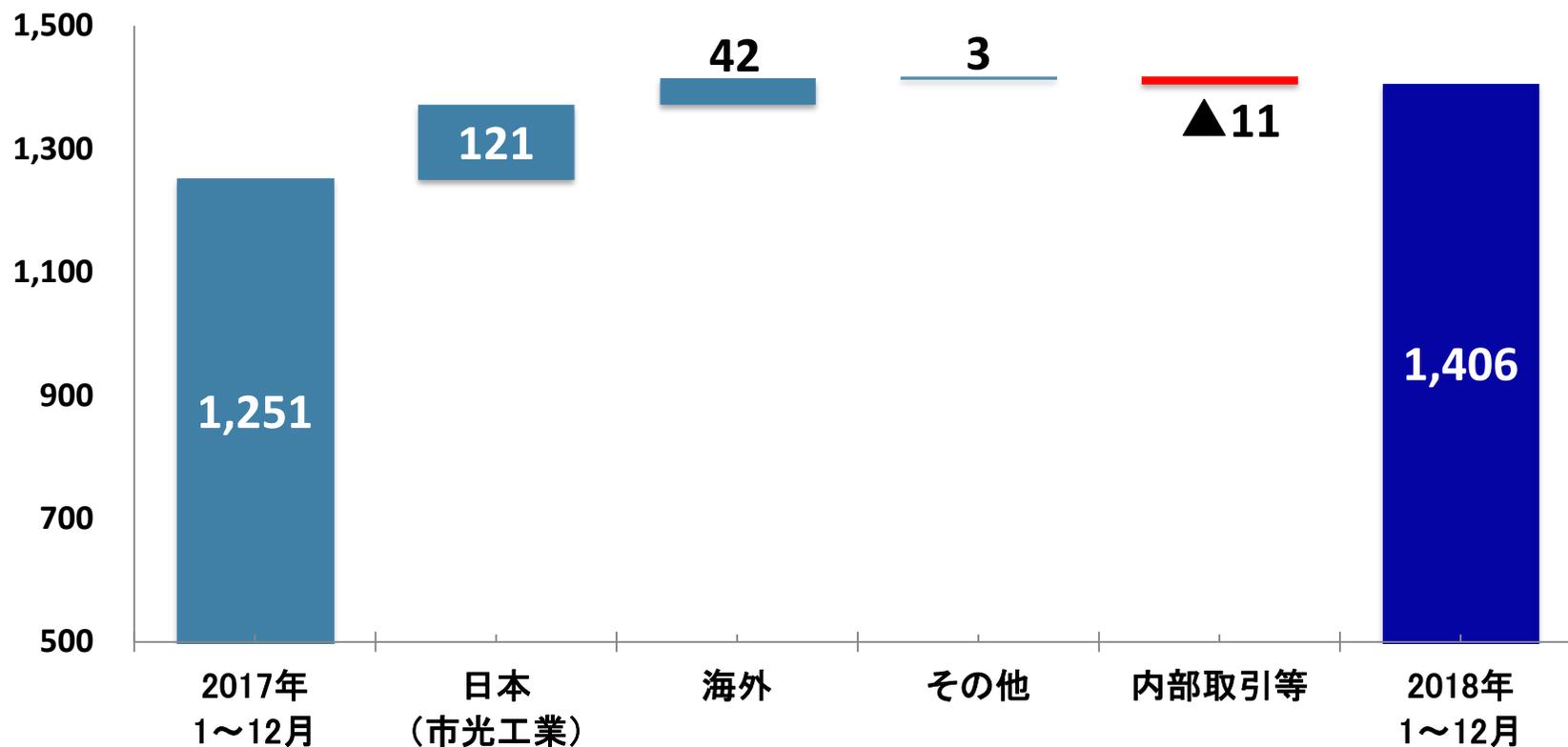
()：前年同期（2017年1月-12月）の数値

2018年12月期 業績のポイント

【売上高】

単位：億円/四捨五入

- ◆ 前年同期比 + 155億円 (+11.0%) 増収
- ◆ LEDを中心とした国内売上増に加え、ASEANなど海外も増収に寄与



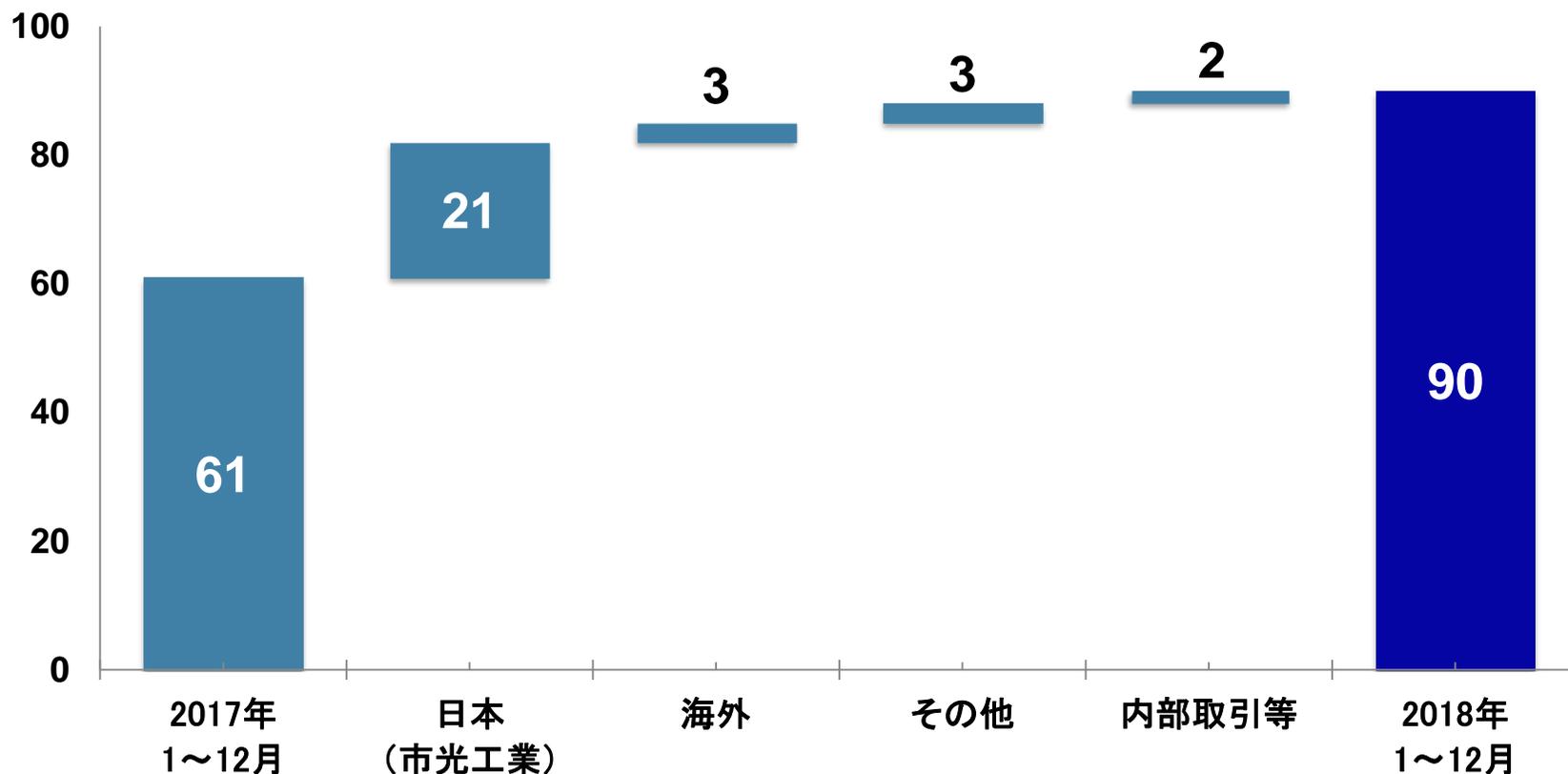
2018年12月期 業績のポイント

【営業利益】

単位：億円/四捨五入

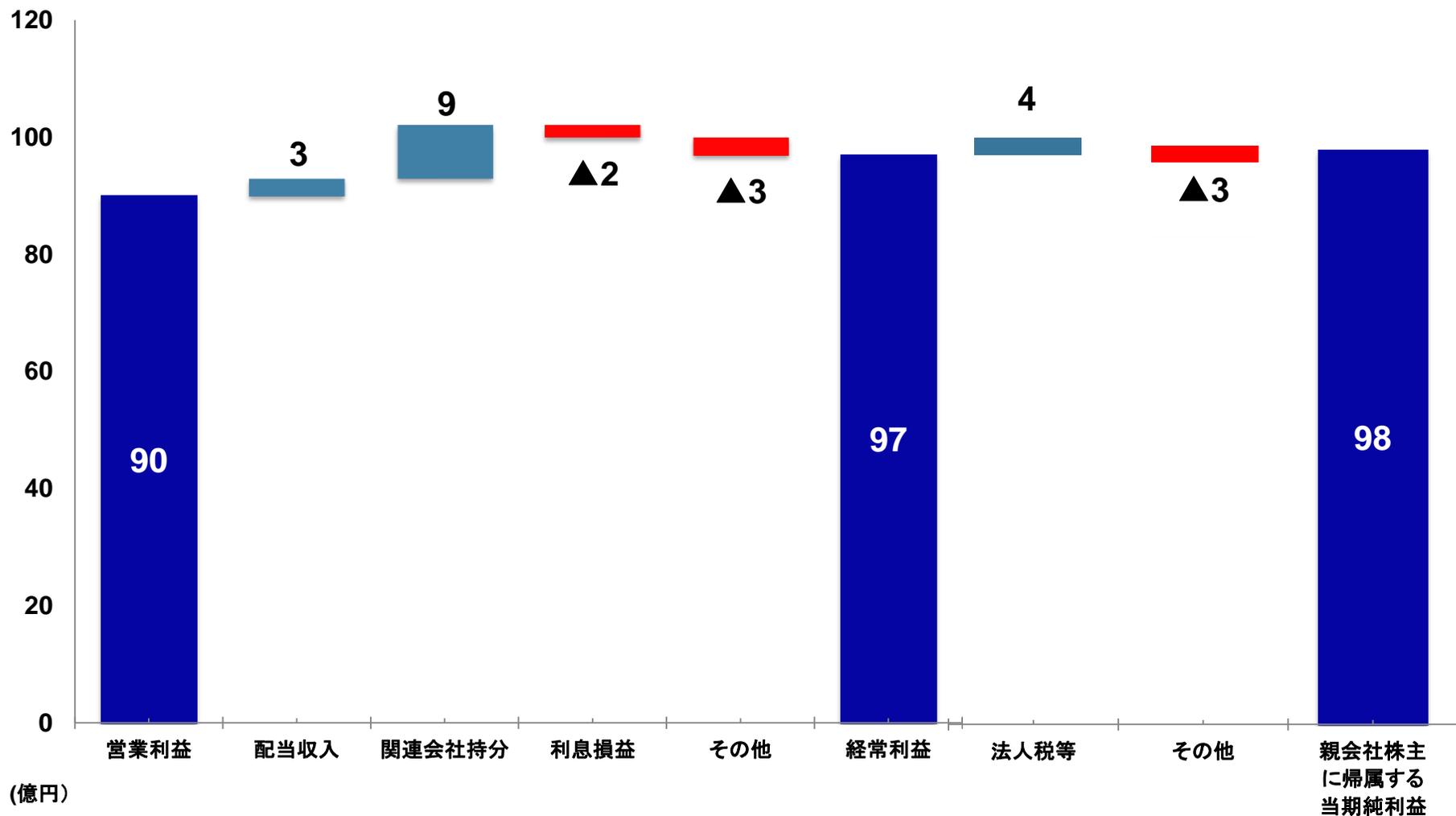
◆ 営業利益増加

→国内増収、海外（ASEAN）の業績向上が寄与



2018年12月期 業績のポイント

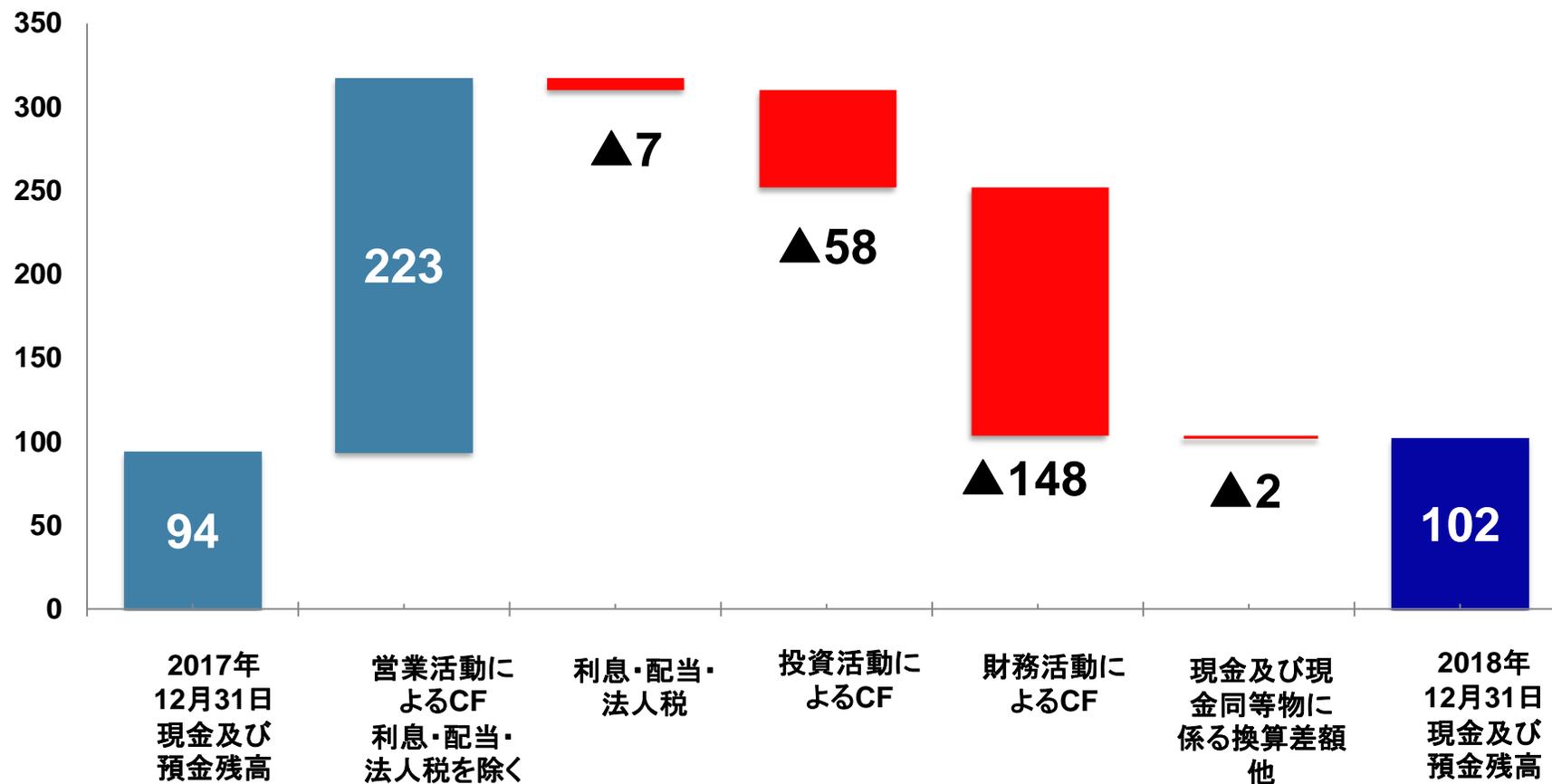
【営業利益～経常利益～親会社株主に帰属する当期純利益】



連結キャッシュフロー（前年度末からの増減）

単位：億円/四捨五入

◆ 営業活動によるCFを投資と借入金返済に充当



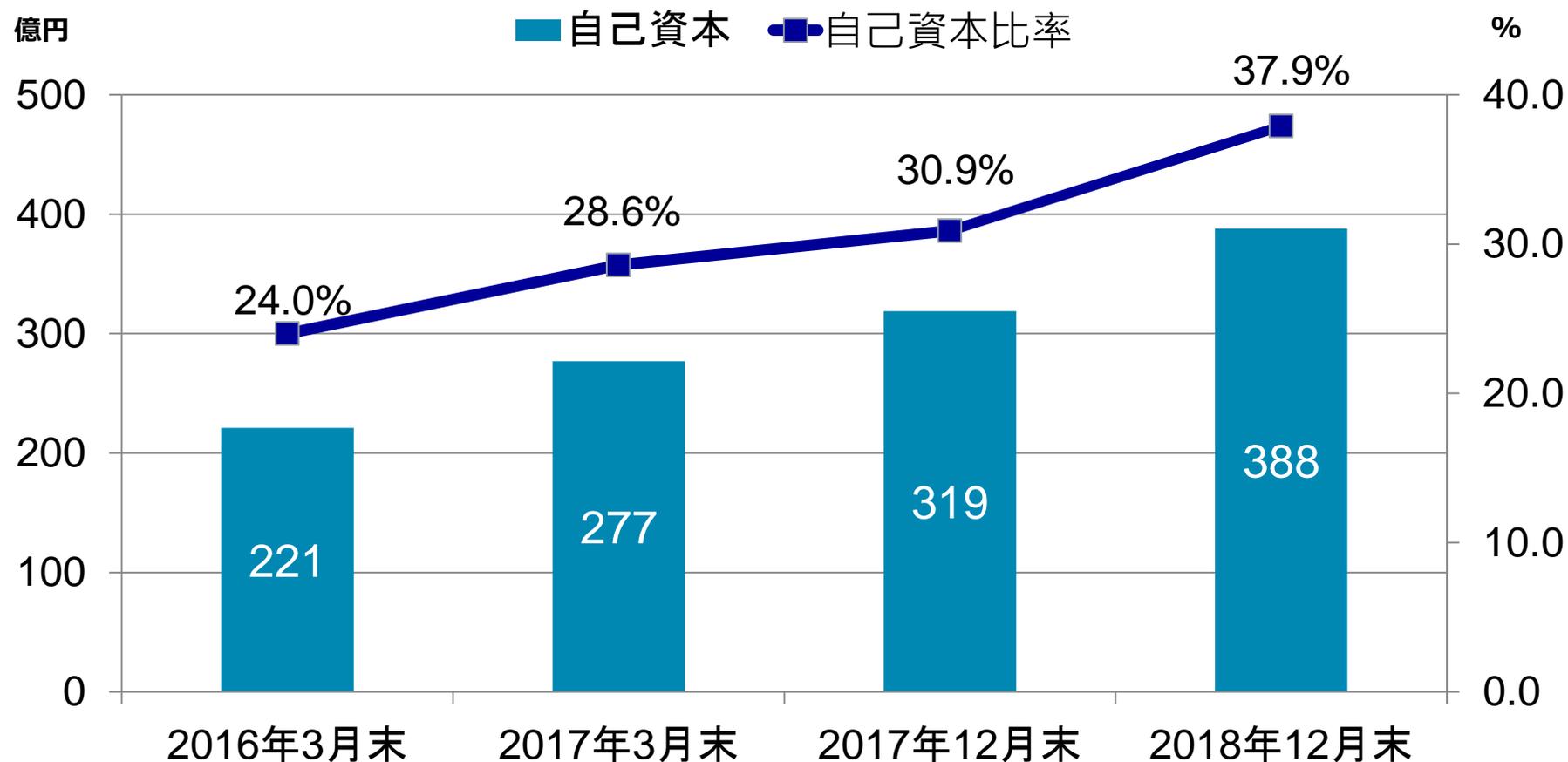
連結貸借対照表（前年度期末比）

単位：億円/四捨五入

	2017/12	2018/12	増減
現金及び預金	94	102	8
棚卸資産	87	75	▲12
有形固定資産・無形固定資産	415	404	▲11
その他	436	443	7
資産の部	1,032	1,024	▲8
有利子負債	256	128	▲128
その他	444	496	52
負債の部	699	624	▲75
株主資本	318	412	94
その他包括利益累計額	1	▲24	▲25
非支配株主持分	14	12	▲2
純資産の部	333	400	67
自己資本比率	30.9%	37.9%	
D/E比率	80.1%	32.9%	

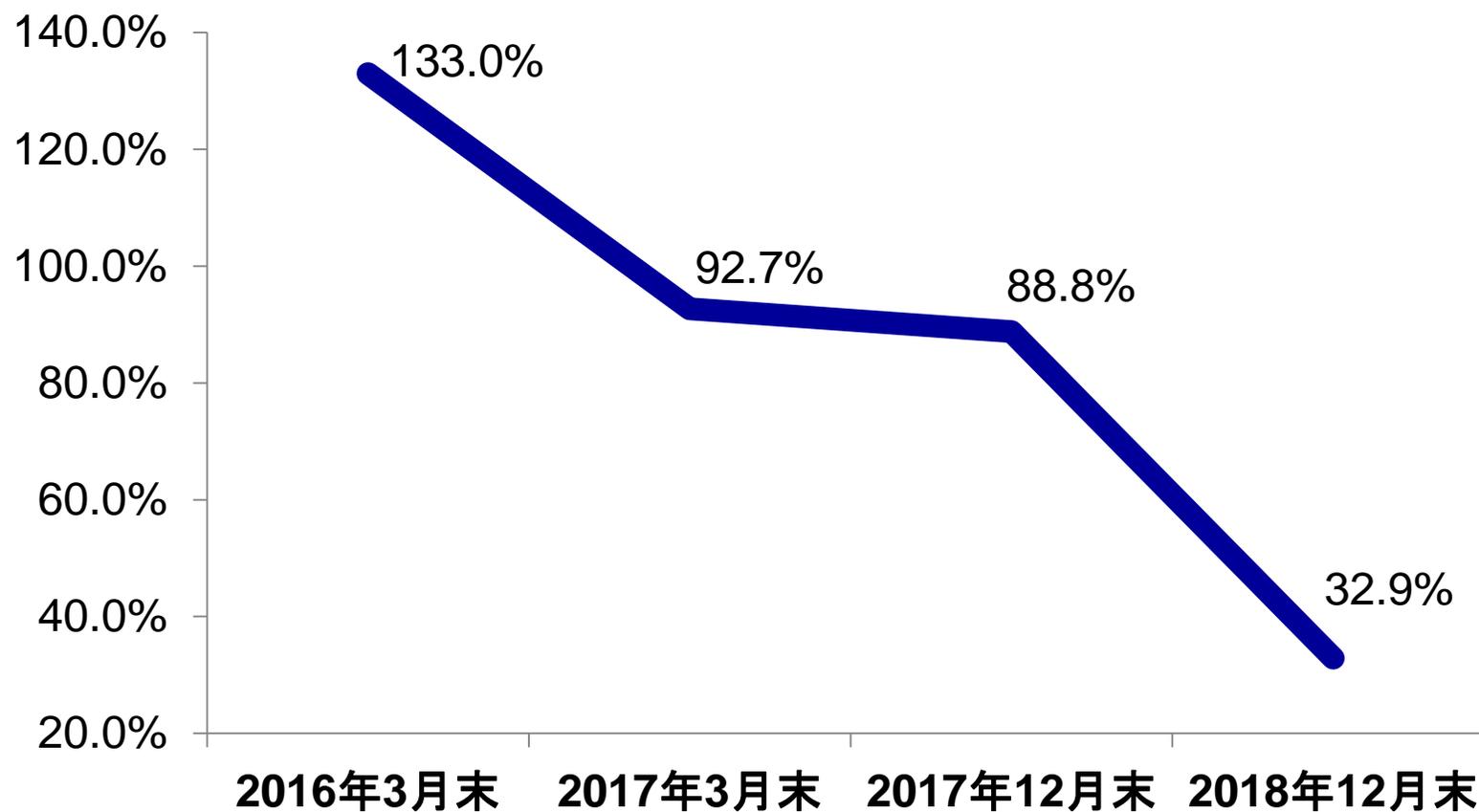
自己資本額と比率

自己資本は着実に改善



D/E レシオ

D/E レシオも大幅に改善



2019年12月期業績見通し (2019年1月～12月)

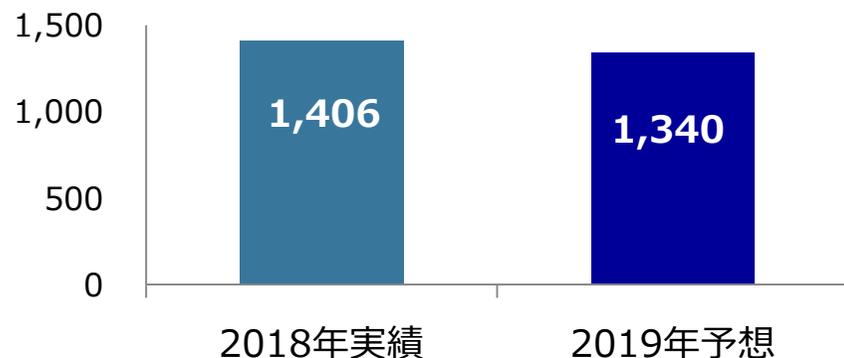
2019年1月～19年12月 連結業績見通し

単位：億円/四捨五入

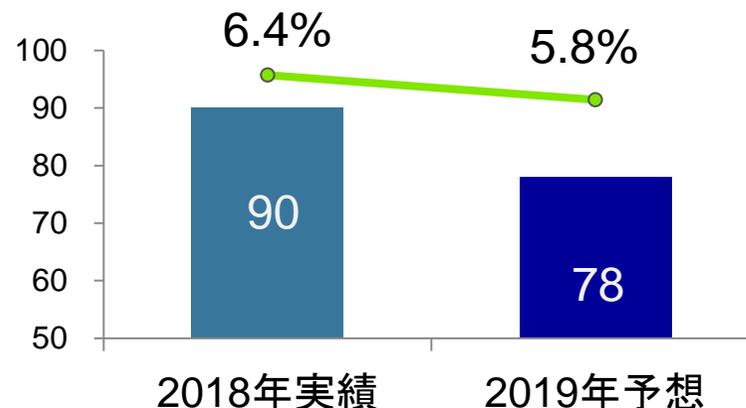
- ◆ 前年同期間比較 減収減益
- ◆ しかしながら、過去2番目の高水準の業績見通し

	18年12月期 (18年1～12月実績)	19年12月期 (19年1～12月予想)	増減額	19年12月中間期 (19年1～6月予想)
売上高	1,406	1,340	▲66	670
営業利益	90	78	▲12	39
営業利益率	6.4%	5.8%	-	5.8%
経常利益	97	74	▲23	37
親会社株主に帰属する 当期純利益	98	50	▲48	26

連結売上高推移



連結営業利益推移



2019年1月～19年12月 拠点別業績見通し

単位：億円/四捨五入

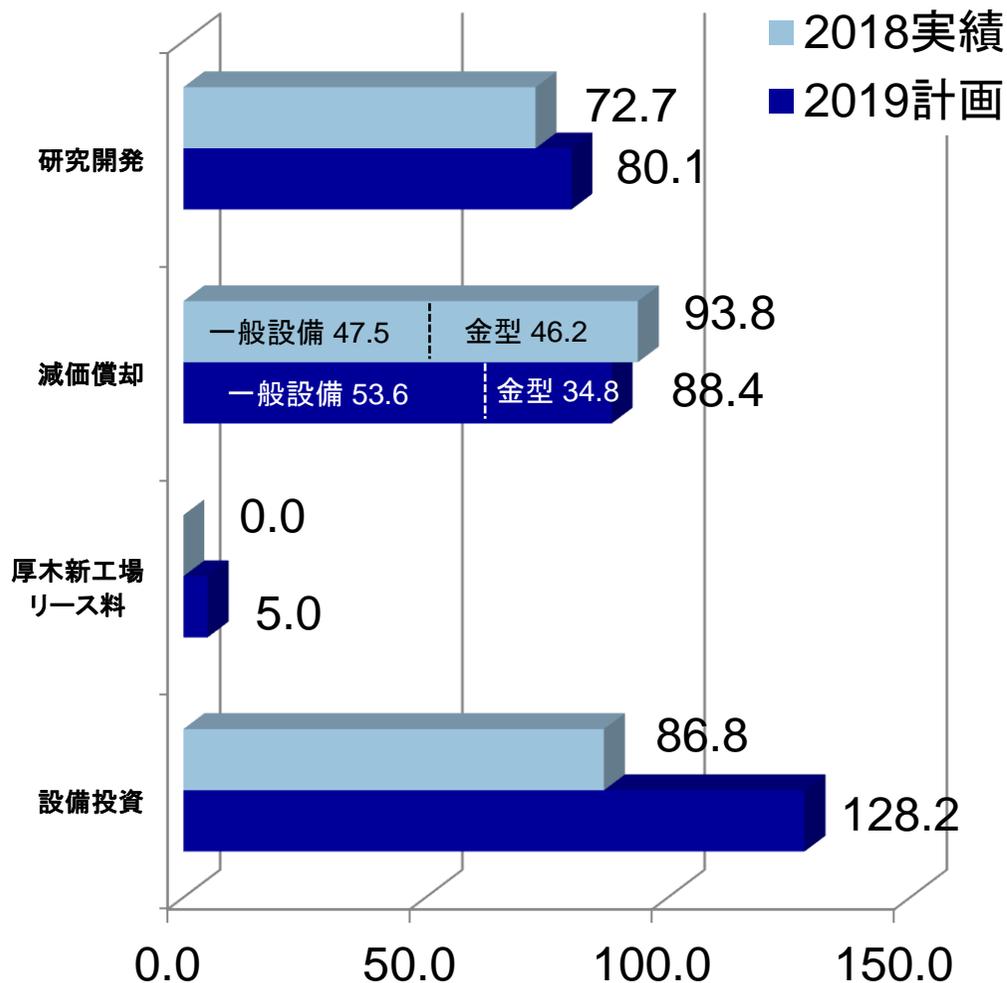
- ◆ 国内：減収減益の主要因。売上製品の変化によるタイムラグ、金型売上の減少
- ◆ 海外：中国は減収減益。ASEANでは引続き成長見込み

	日本 (市光工業)	海外	その他	内部取引 消去等	合計
売上高	1,034 (1,097)	243 (249)	107 (112)	▲44 (▲51)	1,340 (1,406)
営業利益	55 (66)	19 (17)	3 (2)	4 (5)	78 (90)
営業 利益 率	5.1% (6.0%)	7.6% (6.9%)	3.2% (2.2%)	-	5.8% (6.4%)

市光工業：単体ベース（伊勢原・藤岡・ミラー・本社）
 海外：インドネシア・マレーシア・タイ・中国
 その他：用品事業(PIAA)・バルブ製造販売事業(Life Elex)
 ()：前年同期（2018年1月-12月）の数値

2019年12月期 設備投資・減価償却費・リース料・研究開発費 計画

単位：億円/四捨五入



✓ 売上高比率6.0%以上の高水準の研究開発費継続

✓ 一般設備分は増加
✓ 金型償却の減少

✓ 土地・建物につきオペレーティングリース活用
✓ 2019年7月量産開始
✓ 2019年4月よりリース料支払い開始

✓ 能力増強（厚木製造所新設など）
✓ 効率化投資（ヴァレオのリーン生産方式・Cobot等）
✓ 厚木工場投資が一部2019年に後倒し（約30億円）

2019年12月期 業績見通し・中期計画達成のポイント

受注の獲得

- ✓ 足元の新規受注は順調、21年以降の売上貢献
- ✓ ヴアレオとの共同開発技術の積極的提案

生産能力増強 生産効率の向上

- ✓ ヘッドランプ：厚木工場新設による能力増強・生産性向上
- ✓ リアコンビネーション：藤岡製造所の更新投資は今年完了
- ✓ インドネシア：レイアウト変更による生産性向上、投資完了

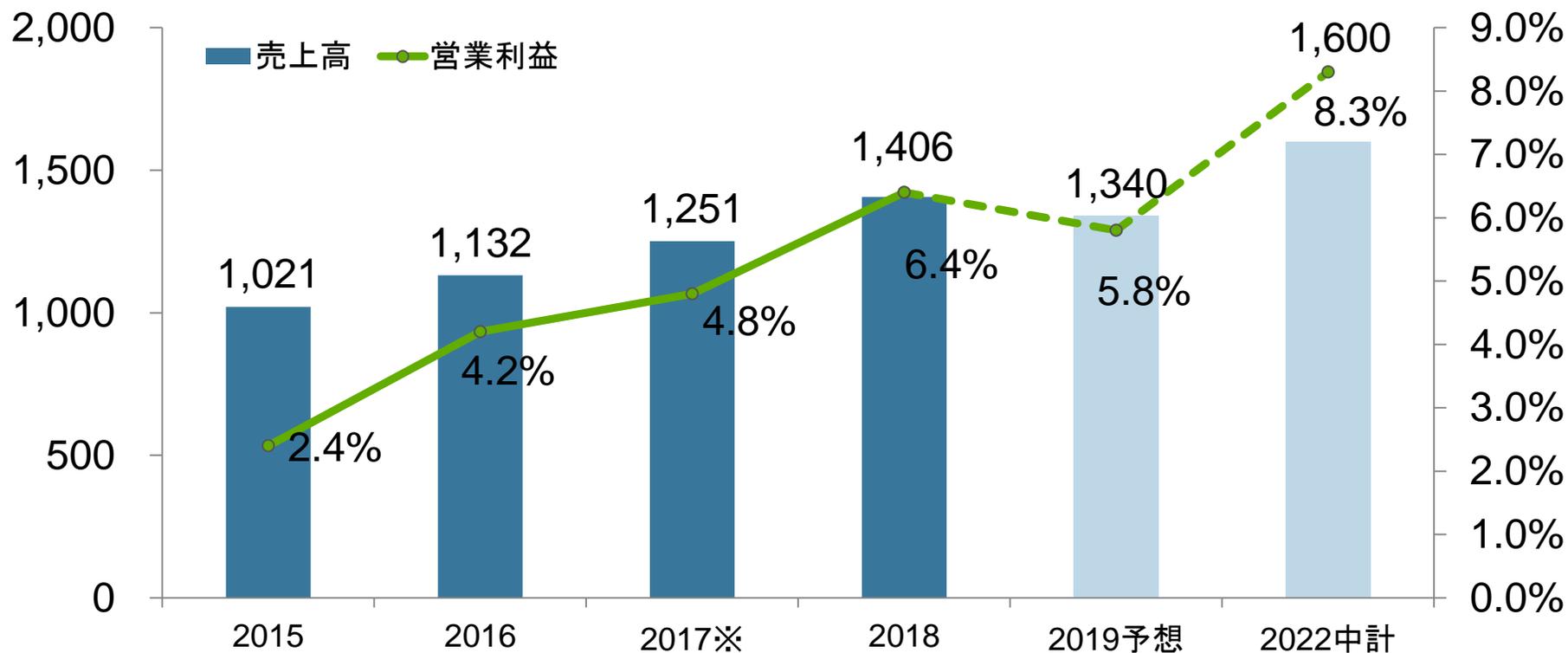
コスト構造改革

- ✓ 共同購買の更なる深化
- ✓ 経理・人事業務のヴァレオとのシェアードサービスセンター化
- ✓ ITインフラの共同活用

業績の推移と今後の計画

単位：億円/四捨五入

長期的成長トレンド継続
(計画進捗は順調)



※2017年度(17年1月～12月の期間で換算)

LEDトレンドに対応する市光・ヴァレオ共同開発技術（ヘッドランプ）の一例

LED普及のためのソリューション

PeopLED®



ハロゲン光源からLED光源への
置換えを加速させる
低価格LEDヘッドランプ

意匠の自由度を向上させるソリューション

BiLED™



ハイビームとロービームが一体になった
小型多機能ユニット

意匠性を高めるソリューション

Thin Lens

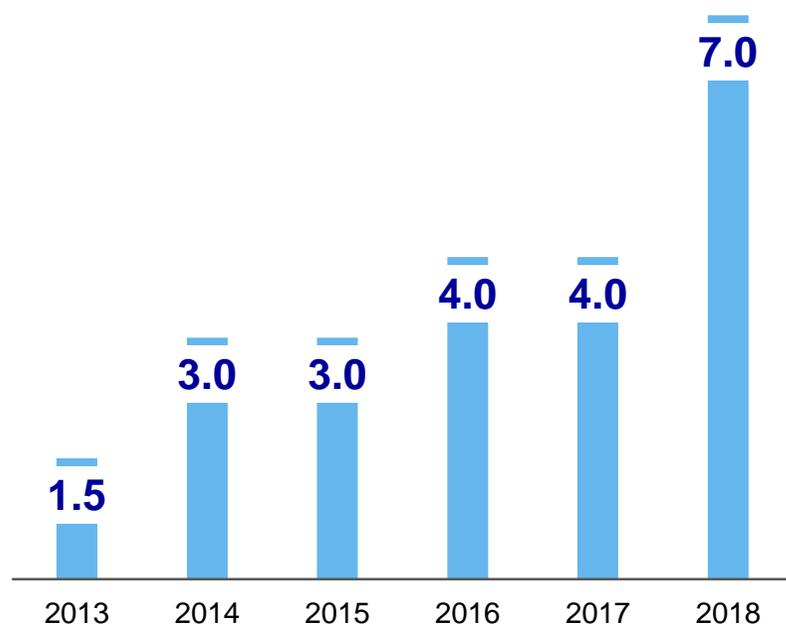


ランプの意匠性を飛躍的に高める
薄型レンズ形状のハイ/ロービーム

配当政策

単位：億円/四捨五入

配当金の推移 (単位：円/1株当り)



基本方針

- (1)内部留保を活用した研究開発及び設備投資により企業価値の向上を図ること
- (2)株主の皆様に対する利益還元の向上を図ってゆくこと
- (1)(2)の双方を達成すること

2018年 期末配当

- ✓ 好調な業績結果、今後見込まれる安定した業績見通しに基づく繰延税金資産の追加計上などを総合的に勘案
- ✓ 配当予想から2円増額

2019年 12月期の配当予想

- ✓ 現段階では不確定要因も多いことから非開示
- ✓ 基本方針(1)(2)をベースに、特に、配当性向の向上など株主への利益還元にも注力

予測に関する注意事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、市光工業株式会社（以下、当社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

ご利用に際しては、ご自身の判断で御願ひ致します。資料に記載されている見通しなどに基づいて投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失についても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は当社に帰属します。いかなる理由によっても当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

ICHIKOH
a Valeo company